

<報道関係各位>

2013年8月1日

一般社団法人 日本化学工業協会

一化学物質管理における最新動向をレポート一  
**第2回 日本化学工業協会 新LRI研究報告会、8月30日(金)に開催**

一般社団法人 日本化学工業協会(以下、日化協)は8月30日(金)、人の健康や環境に及ぼす影響に関する研究を長期的に支援する活動:LRI(Long-range Research Initiative)の成果を公表する「第2回 日化協 新LRI研究報告会」をベルサール八重洲(東京都中央区八重洲)にて開催いたします。

日化協は2000年度よりLRIに取り組んでいますが、化学物質管理を巡る近年の国際動向の変化を踏まえLRIを抜本的に見直し、昨年11月から、化学産業が抱える喫緊の課題や社会のニーズに沿ったテーマに取り組む“新LRI”をスタートさせています。本研究報告会は、この新LRIで採択された課題14件の進捗状況や成果を初めて発表する場となります。

また、今年是一般向けに化学物質管理の現状をわかりやすく解説する“午前の部”、第1期LRI採択課題の研究内容とこれまでの成果を発表する“ポスターセッション”、第1期の採択課題を中心に研究の最新動向と今後の展開を紹介する“午後の部”の3部で構成しています。一般向けの午前の部では、大阪大学大学院薬学研究科の水口裕之教授による、iPS細胞を用いた毒性評価の可能性に関する講演と、科学ジャーナリストの小出重幸氏による「化学物質-(消費者の)不信感は回復できるか?」と題した講演を行います。午後の部では、新LRIの重点テーマのひとつである「新規リスク評価手法の開発」に関し、今後のグローバルスタンダードとなり得る“in silicoによるリスク評価”の研究等について最新動向と研究の現状を紹介します。

なお、本研究報告会への参加は無料ですが、事前登録が必要です。参加を希望される方は、日化協LRIウェブサイト(<http://www.j-lri.org/>)より必要事項をご記入の上お申し込みください(定員:200名)。申込締切は8月28日(水)です。

<参考>

新LRIで取り組む支援研究分野

- 1) 新規リスク評価手法の開発、評価に関する研究
- 2) ナノマテリアルを含む、新規化学物質のリスク評価に関する研究
- 3) 小児、高齢者、遺伝子疾患などにおける化学物質の影響に関する研究
- 4) 生態(環境)への化学物質の影響評価に関する研究
- 5) その他、社会的あるいは国際的に緊急対応が必要とされる課題解決のための研究 等

《本件に関する一般からのお問い合わせ先》

一般社団法人日本化学工業協会 LRI事務局 水越、築瀬、黛 TEL:03-3297-2575

《報道関係者からのお問い合わせ先》

一般社団法人日本化学工業協会 広報部 高橋、高水 TEL:03-3297-2555

<第2回 日化協 新LRI研究報告会プログラム>

日時：2013年8月30日(金) 9:30-17:00(開場9:00)

会場：ベルサール八重洲 3階

(東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 電話 03-3548-3770)

メイン会場(会議室1~3) ポスター会場(会議室5)

プログラム:

午前の部	
9:10	受付
9:30 - 9:35	開会挨拶 西出 徹雄 (一般社団法人 日本化学工業協会専務理事)
9:35 - 9:45	LRI 運営委員長挨拶 中條 哲夫 (昭和電工㈱ 執行役員)
9:45 - 10:45	特別講演 1 「ヒト iPS 細胞由来肝細胞の創出と毒性評価系への応用」 水口 裕之 (大阪大学大学院 薬学研究科 教授)
10:45 - 11:45	特別講演 2 「化学物質-(消費者の)不信感は回復できるか？」 小出 重幸 (科学ジャーナリスト)
11:45 - 12:00	質疑応答、事務連絡
12:00 - 13:00	休憩
13:00 - 14:30	ポスターセッション ※展示は 16:00 まで
午後の部	
14:30 - 14:45	ご挨拶 庄野 文章 (一般社団法人 日本化学工業協会常務理事)
14:45 - 15:45	「化学物質のリスク評価における現状と新たな流れ」 西川 秋佳 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター長)
15:45 - 16:15	「事業者の自主的リスク評価管理を支援する環境リスク評価ツールの開発」 林 彬勲 (独立行政法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門)
16:15 - 16:45	「事業者の自主管理に資する確率論を援用したヒト曝露評価モデルの開発」 東海 明宏 (大阪大学大学院 工学研究科 教授)
16:45 - 17:00	総括 「今後の LRI に期待する」 岩本 正和 (東京工業大学 資源化学研究所 教授)